

【 1. 航空従事者の資格制度について】

航空会社には様々な職種の人が、いろいろな職場で働いていますが、航空機の運航の最前線で活躍する操縦士、整備士などの航空従事者については、運航の安全を確保するために、それぞれの業務を行う能力を有する者として国家資格を取得することが必要となっています。

また、操縦士については、「計器飛行証明」、「操縦教育証明」、「航空英語能力証明」を取得することが必要となる場合があります。